



## 平成23年度 大垣市男女共同参画フォーラム開催される

今年度の男女共同参画フォーラムは、23年12月から翌1月にかけて4つの分科会が事前に行われ、平成24年1月28日(土)にスイトピアセンターにおいて全体会が開催されました。

まず、表彰式、モデル地区の報告のほか、事前に行われた分科会の報告がありました。また、人権創作劇の上演や非常食の展示・試食も、分科会として行われました。

午後からは、「地域づくりは関係づくりから 男女共同参画時代をつくる」と題して、国立女性教育会館客員研究員の神田道子さんによる基調講演がありました。



その中で神田さんは、大震災、高齢化など、これまでの経験を越えた状況や課題に直面している現在、それを解決するために柱となるのが地域づくりであり、一人ひとりの生活の基盤としての地域づくりが重要であると訴えられました。



震災をきっかけに、既存の仕組みは一人ひとりの生活の困った状況を考えてきたか、という反省に立って地域のルールを作っていくべきということが、クローズアップされてきています。生活を担い、背負ってきたのは、女性たちです。生活に根差した地域づくりは、女性の参画を進めて初めて成り立つのです。

自分だけの重視主義が生んだ孤立を解消し、「自他の尊重」を基本に置いた社会の仕組みを作るために、女性も今ある力を伸ばしていくべき、と話されました。

講演に続き、「絆を強めて高めよう地域力・自分力」というテーマでシンポジウムが行われました。被災地支援や自治会活動、地域の男女共同参画推進など、パネリストの方々のそれぞれの立場での経験が紹介され、テーマにふさわしい有意義な議論がなされました。

コーディネーターとしてご参加いただいた神田さんからも高く評価していただき、今年度のフォーラムも盛会のうちに終わりました。

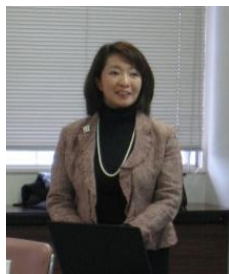
## 大垣市男女共同参画フォーラム 第3分科会

1月21日(土)13:00~

男女共同参画活動室

### 「地域の防災に女性の力を」 —わたしの防災力ノートを作りませんか—

講師 男女共同参画センター横浜北事業課長 常光 明子さん



常光さんは、阪神・淡路大震災の経験を聴くパネルディスカッション、女子学生へのアンケート調査などを行い、2009年「YOKOHAMA わたしの防災力ノート」を作成されました。

お話は、女性の災害リスク・震災に備えるためのいつもの力・地域の防災の担い手に！の3点を中心に伺いました。

阪神・淡路大震災では、逃げにくい服装（スカート等）や一人暮らしなどのリスクで、犠牲者の6割は女性だったそうです。また、避難所でのプライバシー（トイレ・更衣室等）や子育てでもリスクがありましたが、東日本大震災では女性への配慮が呼びかけられ、理解が進んだそうです。



途中で、グループワークや YES・NO クイズをして自分自身の災害や防災に対する意識を確認しました。

『地域の防災には多様性を尊重する視点が大切！』

震災は誰にでも起こること。だから被災下では温かい心で「お互いさま」

『私たちにできる3つの防災力をUP!』

- ① 情報を入手して自分の問題として考える イメージする力
- ② 「いつも」の暮らし方を丁寧にすることが「もしも」に備える つながる力
- ③ 何かを大切にしたいと願う思いの強さ あきらめない強さ

地震は なにを壊すと思いますか？

大切なもの。大切な人。なくしたくない、守りたい。

そう思う願いこそが防災の第1歩です。



# DONNA(基礎)講座パートⅡ・公開講座 「伝える力を身につけよう」

講師 まち楽<sup>ら</sup>房<sup>ぼ</sup>(有)代表取締役 加藤 武志さん

## ①「書く技術」～考えを伝えるために小文を書く

2月18日(土)13:30～ イベントハウス

今回のテーマである「伝える力を身につける」ために有効な型があります。メッセージを伝えるには、まず①結論(Point)、次に、その結論を出すに至った②理由(Reason)、それを分かりやすくするための③事例(Example)、そして最後にもう一度④結論(Point)に戻るといふ順序で伝える、PREP法といわれる型です。

もうひとつ、大切なことは、どうやったら自分らしさが伝わるかということです。それには、自分が自分とどれだけ対話をしているかが重要になってきます。そのための訓練として、脳を活性化させるブレインストーミングという楽しい発想法を伺いました。頭の中で一つの単語を思い浮かべ、連想される言葉をどんどん挙げていく連想ゲームを始めてみましょう。こうして脳の助走をすることによって、脳は活性化されていくものだそうです。

文章をまとめるポイント、つなぎ言葉や簡素化することの難しさを的確に体験することができたように感じました。



## ②「話す技術」～自分の考えをまとめ、相手に伝える

3月11日(日)13:30～ イベントハウス

前回の「書く技術」のおさらいとして、P・結論、R・理由、E・事例、P・結論の話から始まりました。アイスブレイクを経て、グループに分かれましたが、前回も参加された方たちは加藤先生の質問にも大きな声で答え(!?)、楽しく進められました。

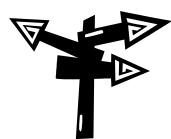
各自違った4コマ漫画を読んで、ペアの相手に内容を話して伝えるワークショップでは、言葉だけで伝える難しさを感じました。

次に、与えられたテーマについて一人2分の持ち時間で、グループ内でスピーチしました。限られた時間の中で話すには、簡単明瞭で、しかも相手の心に残る言葉でなければ…と思いました。



両日とも、和やかな雰囲気の中、参加者全員が常に関わり合うという楽しい講座でした。生活の中で「伝える力」を身につけ、大いに役立てたいものです。





## 私のロードマップを描こう

NPO法人 参画プラネット 代表理事 渋谷 典子さん

今回の講座は、プレゼンテーションについて、また、自分の3年後に向けて、プレゼンテーションの技術を活用した「私のロードマップの描き方」を学びました。

効果的なプレゼンテーションには「基本的キーワード」と「3つの条件」が必要であると、渋谷さんが実践し成功した事例をお話しいただきました。

「私のロードマップの描き方」のワークショップでは、渋谷さんの巧みな話術に乗せられ、参加者は、すんなりと4つのグループに分けられました。年齢も性別も異なる集まりでのグループワークの始まりです。

「私の3年後」…最高の3年後と最悪の3年後を思い浮かべ、まずはグループ内での発表です。大勢の前では発表しにくいことも、グループ単位だと案外話しやすいものです。互いの意見の中からグループとしてのテーマを選び、グループごとに発表し意見を述べ合いました。

次は、個人で「私の3年後」に向けてのプレゼンテーションの作成です。3年後の目標達成に向けて、最終目標(結論)、現状問題(現状の問題・問題の原因)、問題の解決(結論)と、自分の希望や実現したいと思ったことを順を追って箇条書きにまとめていきました。この技法を使ってできあがったロードマップは、グループの方や参加者全員にも発表して意見を交わしました。

プレゼンテーションとは、企業などでの企画提案だけと思いがちですが、自分の成長のために企画提案をして、夢や希望をしっかりと見つめ目標達成に向かうことの大切さを勉強できました。

### 平成24年度 大垣夢ある女性の会総会のお知らせ

日時 平成24年4月21日(土) 13:00受付開始 13:30開会

場所 スイトピアセンター スイトピアホール

後日、往復はがきにてご案内をお送りいたしますので、出欠をご返信ください。